

元気ハツラツ、ぼくの夏休み  
相棒あり、ソロありの変則旅

東北の主要「湖」制覇セヨ  
予定は未定の現地決定でゴー！

香取 薫（42歳）

ホンダX11（03年型）  
神奈川県川崎市

ぼくのなつやすみ

夏休みっていつ取ったっけ？ あ、えーと確か最後は、2002年8月26日から30日までの休暇を申請した。上司はすでに1週間前に、同様に夏季休暇を取得しており、否はあるまい、ムフフ。

んで、休みはいいがどうすべ？ また北海道へいくべか？ でも日数的にはそれはほぼムリだ。

であれば、これまでバイクでは通過しかしていなかった東北を、攻略するはどうだろう？

東北をまわったこともある上司の話を聞いたり、福島にいる同じバイクに乗るヨコチャン

に会うことも考えたりしているうちに、なかなかいいアイデアに思ってきた。

というわけで目的地は「東北」に決まり。と

りあえず東北のツーリングマ

ップルをゲット！

つてなことを前々日の24日に自分のホームページの掲示板に書き込み

旅のデータ  
日程●2006年8月26日～29日  
走行距離●1823km  
平均燃費●16.7km/l  
費用●6万3064円（宿泊代2万310円、高速代1万6890円、ガソリン代1万4925円、その他1万939円）



●朝の十和田湖畔をまつりと散策

## 十和田湖侵攻セヨ

■2006年8月26日（土）

本日は一挙に東北、青森県は十和田湖まで移動だ。その距離約700km弱。おそらくはこれまでのバイクライフで（クルマを含めても）最長の移動距離になる。

4時起床。さすがにまだ暗い。出発の支度をしている間にカミさんが握り飯を作ってくれた。これをタンクバッグに押し込み、とりあえず出発前の写真を撮影してもらう。5時25分出発した。

首都高速に羽田から入る。じつは、今回に備え、ETCカードを調達（クルマには未導入）し、マイレージ登録を済ませておいた。今日は初めての利用になる。

5時40分に首都高速入りしたのだが、ラッキーなことに早朝割引が適用され700円→560円だった。

いいねえ、これは。

空はだんだん明るくなり、特に問題なく順調に進み、川口から東北自動車道へ。そして、6時25分、東北

しておいたら、反応あり！  
急ぎよ、同じX11に乗るXEOS（X11 Owners Site●<http://xeos.hps.infosseek.co.jp/>）メンバーの友人（以下「かえるさん」）から同行したとの連絡あり。じつはその時点では決定していたスケジュールはわずか

に以下。主目的、東北の主要な湖の制圧。まずは第一目的地である十和田湖まで侵攻。そして、十二湖・田沢湖・猪苗代湖の各湖を制圧。これしか決まってなかつた（これも力ナリいいかげん）のであるが、さすがに同行者がいるということとで、十和田湖の宿だけ押さえて旅に出ることにした。

すべてがいい加減で、荷物の準備を含め、すべて前日の夜に実施したのである。これでいいのか？ まあいいでしょ（笑）。明日は早い。前日は、若干早めに就寝。「出発」。



●左が赤いかえる号。右の黒が私の相棒

## 夕陽を眺めつつ 湖畔の国民宿舎へ

そして、さらに歩を進めれば、十

和田湖が見えてきた！ 初めて見る

和田湖である。空の色よりも少  
し濃い目の青が視界に入ってきたと  
きには、心中で拍手してしまった。

「来たぜ！ 十和田湖さんよお～！」

そうして、ほどなく我々は宿に到

着。16時48分である。今夜の宿泊は  
二ツボン国民ならではの国民宿舎、  
十和田湖温泉である。だいたい家  
いや、走った走った。

わざと

道蓮田SAに着いた。

すでにかえるさんが到着してい  
る。そして、持参のおにぎりを渡し  
て一緒に食べる。かえるさんは、か  
なり眠そうだなあ……。

では出発！ すでにここまでで60  
km走ったが、ここから610kmの東  
北自動車道の旅の始まりだ！

SA、9時40分・安達太良SA、10

15時50分、無事東北自動車道を出  
たが、福島を抜けるぐらいから青天  
に変わり、以降は湿度も低くとても  
気持ちのいい夏空が続いていた。そ  
してここ十和田も……。ああ、長か  
ったなあ。なんだか一日高速道路に  
いた気がするなあ。

岩手を抜けると、もうあまりクル  
マも走ってなくってほとんど貸し切  
りだった。あ、途中の岩手山の写真  
を撮るのを忘れてしまった。まあ  
いか。

岩手を抜けると、もうあまりクル  
マも走ってなくってほとんど貸し切  
りだった。あ、途中の岩手山の写真  
を撮るのを忘れてしまった。まあ  
いか。

というわけで県道2号を走つてい  
くと、「七滝」が現われる。16時3  
分、七滝到着。

大規模な滝というわけではない  
が、段々になっていてなかなか面白  
い。そもそも「夕刻」という時間帯  
であるが、まださわやかな暑さが残  
り、滝の音とまわりの緑が非常にい  
い感じの場所であった。

さて、後は宿に向かうのみだな。  
途中、笹森というちょっとした峠を  
抜けるのだが、そこに展望台があつ  
たので写真を撮影。遠く、岩手山も  
見える（らしい）。

まあ、それはさておき、宿に戻り  
飯を食い、早々にふとんを敷いて、  
まつたりとした夜へ突入。明日のル  
ートを、なんだかんだと迷いつつ、  
検討を始める。とりあえず、十二湖  
と田沢湖は外せないよな……。

秋田に泊まれば余裕はあるが、田  
沢湖が外れるし、どーしたもんか？  
んあ？ かえるさんがぐーすか寝て  
しまった。しかたねえなあ、再度ル  
ートマップとにらめっこ。

秋田を避けて、途中から田沢湖に  
抜けるショートカットを使えばどう  
にかなりそうだな。では、決定！

やつぱし田沢湖に行くとしよう。  
宿は……どうにかなるかと思った  
けど、とりあえずネットで調べて、  
田沢湖畔の民宿に電話した。さす  
がに日曜の夜ということです。いつい  
てしまったが、この花輪が最後の  
SA。この先の出口「小坂」（十和  
田の先）にて東北自動車道の旅は終  
わりとなる。

う感覚があり、やつぱり私もぐーす  
か寝てしまった。

本日の走行…675km

■8月27日（日）

## 「次なる湖」 十一湖・田沢湖制圧セヨ

6時30分、起床。7時朝食。なん  
という健全な生活なんだろう。出発  
点は十和田湖ナリ。7時51分出発。

先を急ぐため、十和田湖のシンボ  
ルである「乙女の像」はバス。一路、  
国道103（102）号を進む。

宿を出でいきなりダートが出てき  
て焦ったが、大した距離ではなく無  
事通過。そして湖畔を一周し、ちょ  
こっと止まって写真を撮影。で、二

の先は馬車馬のよう先を急ぐ。  
大したことはないと思っていた十  
和田湖一周道路はワインディングの  
連續で、そこそこ面白かったが、そ  
ろそろガスもヤバイ。でもなかなか  
スタンドは見つからず、国道102  
→454号を経て、結局、ふもとの  
7号長嶺まで下りてしまった。

幹線道路たる7号を走ればガソリ  
ンスタンドがあるかと思いきや、な  
し。泣きが入りそうになつたところ  
で、大鰐で「ENEOS」の看板を  
発見。いざ「ーーー しかし……休み  
ナリ。

うむむとへこみつつ、7号に戻  
る道を進んでいくとあった！ ガソ  
リンスタンド！ なにやらあちゃ  
んが一人で店番してることで、大丈  
夫かなあと思ったけど、元気なばあ  
ちゃんで、何の問題もなく給油。  
「どこにいくだかね？」「岩木山を  
まわって白神山地と十二湖まで」、  
「そうかいそいかい、ならアップル

口一ド行くとええよ。

まさに、その道へ行こうとしていた。ばあちゃんに見送られ再出発。ちなみにこのばあちゃんのガソリンスタンドのハイオクが、一番安かつた。なんと146円だった。値段を書き換えていないのだろうか? こ

れはいくらなんでも安すぎる! また行こう(イケネーイケネー)。

ばあちゃんのいいつけ(?)どおり、国道7号から県道127号へ。

ここから先は非常に快適な、そして左右にリング煙を望むアップルロードである。煙に落ちている青リングに手が出そうになつたが、先を進む。おお、左手に岩木山が見えてきた。別名「津軽富士」というだけあって、きれいな形をした山である。

## 「あれが北海道だ! つてたぶん津軽半島?」

岩木山をまわるには、県道30号と県道3号があるが、今回は南側から西に抜ける3号を使うことにした。県道3号は岩木山をまわり北進。そして日本海側の鰐ヶ沢に抜ける。いやあ、ほんとうにいい天気、そしていいワインディングだ。昨日の疲れもなんのその、順調に先に進んでいく。そして国道101号に接続

し、ついに日本海側に出た!

見えた! これまたきれいな海と空だ。後ろでかかるさんが拍手している。いやあそれほどのスマラシイ景色だつた。

この美しい海岸と空を見ながら、日本海をまわっていく。そして名勝の地と言われる千畳敷海岸に到着。天高く、そして空青く、海もしかしり。

最高の情景だ。そしてはるかかなたには……おっ北海道が見える!

いやーすげーすげーとかえるさんと喜んでいたのだが、冷静に考える

とそれは津軽半島だつたような気がしてならない。まあ、地元の人の寒い視線を浴びたわけではない、よしとしよう。

さて、旅はまだ長い。が、若干腹が減つた。朝飯は宿でガツツリ食つたので、餓死寸前というほどではないが、まだ先は長い。ではここでイカ

でも食うとしよう。道の駅ふかうら「イカ焼き村」で300円のイカ焼きをゲット。マヨネーズをたっぷりつけて、海を見ながらの肉厚のイカはうめえ! あーこりやうめえ!

深浦をまわり、そして沢辺をまわ

ると、白神山地が見えてきた。くく、この青空、海、青みがかった山々の風景。たまらん。きれいすぎる!

ここでこれを見ながら、夕暮れまで酒の一杯でも飲めれば最高なのだが……ムリだな。意を決し、十二湖に急ごう。途中省略し、速攻で十二湖ビューセンター前に到着!

十二湖はその名とは異なり、白神山地にある33個の池や沼の総称である。さすがに全部をまわるのは時間的に無理だったので、一部だけまわった。今度は空の青と湖と木々の緑

が爽快な、いい場所であった。

ちなみにビデオセンターより先にほかの湖があるのだが、約1名はもう合成写真っぽく写ってしまうのは、このキンピカな……(以下略)。

こう。私は一人ほかの湖を撮影しに行つたのであつた……。というわけで、本日の第一目標制覇! では先を急ぐとしよう。

田沢湖の夕日も堪能し、そうして男2人でアイス休憩観光スポットを堪能する

男2人でアイス休憩

私の2006年8月27日は終わり、

田沢湖の民宿なのにミーハーな名前の「ビーチハウス湖翠」に宿泊したのであつた。

田沢湖の夕日も堪能し、そうして男2人でアイス休憩観光スポットを堪能する

が爽快な、いい場所であった。

たということで、他観光客に紛れながら写真をバシバシ撮影。しかしどうも合成写真っぽく写ってしまうのは、このキンピカな……(以下略)。

いやいやいや、楽しいな旅は。そして田沢湖は。たつしーも(誰だそれ?) サイコー!

田沢湖の夕日も堪能し、そうして男2人でアイス休憩観光スポットを堪能する

が爽快な、いい場所であった。

ちなみにビデオセンターより先にほかの湖があるのだが、約1名は

もう合成写真っぽく写ってしまうのは、このキンピカな……(以下略)。

こう。私は一人ほかの湖を撮影しに行つたのであつた……。というわけ

で、本日の第一目標制覇! では先

を急ぐとしよう。

田沢湖の夕日も堪能し、そうして男2人でアイス休憩観光スポットを堪能する

が爽快な、いい場所であった。

ちなみにビデオセンターより先にほかの湖があるのだが、約1名は

もう合成写真っぽく写ってしまうのは、このキンピカな……(以下略)。

こう。私は一人ほかの湖を

だ。そして、この旅も3日目に突入。  
今朝も早から爽快に早起きだ。6時  
30分起床。ちょっとと田沢湖を散策後、  
本日は7時30分から朝食ナリ。

そこからは国道341号を  
し、46号を東進。ほどなく東北  
岡一Cにたどり着く。かえるさ  
は、途中まで「一緒することに  
つたん紫皮SAで一報。

中、北上川沿いのゆったりした風景を眺めながら走ることのできる一本道である。曇天ではあるものの、なかなかいい川沿いの景色を堪能しつつ、南下する。

巻市に近づいてきたものの、これでいいのか私の人生（大きさ）。東北の日本海側を堪能した？ では太平洋側の立場はどうなるの？ 同じ日本であろう！ わかった、俺も男

そういうえば、昨日の晩はダベツってばかりで、今日の予定は全然決めてなかつた。かえるさんはお帰りだし、自分一人だし、どうとでもならうと思つていたものの、あまりにも無計画。

パンパン振りまわす手が至近距離で、  
しまいには、ハ工たたきを持ち出して、たたこうとする。そ、そのハ工たたきで私の塩シャケをたたかないとほしいのですが……。

お客様に不快な思いをさせまいと、いう、その心意気には感服いたしますが、こっちはもう半べそ状態。「いやいや、ホント大丈夫ですかから泣く」「ほんと困った虫ねえ」バシ

紫波S.A.で、適当に石巻でも行くかと決める。かえるさんが銀行に行く用事があるらしいので、一閑あたりで下りることになった。

一閑で高速を下り、最寄りの銀行へ。かえるさんが銀行で手手続きをしていたら、おっちゃんが近寄ってきて、「どこからきたのか?」といつたことを話しかけてきた。

だ、行つたろうじゃないか！  
国道342号は、いつたん45号と  
合流するが、そのまま石巻市に行か  
ず、北上川沿いに若干県道197号  
を東進すると、国道398号に分岐  
する。そしてちょっとした峠を進む  
と、目前に見えた。海だ！ リアス  
ブルーラインだ。かなり曲がりくね  
った細い道であり、西伊豆の大瀬崎  
界隈を彷彿させる。

「バシ！ 聞け、俺の心の叫び）  
一瞬ハチがいなくなつてくれたの  
で「もう大丈夫です、ホントにもー  
ホント」。ハチがいなくなつたこと  
り、ハ工たたきおはちゃんがいなくなつたことのほうがうれしかつた。  
そんな糺余曲折はあつたが、とり  
あえず朝食完食。再度ハチ君が飛来  
したがもう放置。念願の塩シャケの  
余つた魚肉をハムハムして、きれい  
にダンゴ状のものをこしらえて満足

なんかでかい声でしゃべつてくれ  
るのだが、いまひとつ言葉がよくわ  
からない。川崎？ 遠いねえ？ ど  
こから来てどこへいくのか？ なん  
て会話だったと思うが、ちゃんと愚  
け答えできていたのか少し怪しい。  
「これ何cc？」（あ、ナンシーさ  
だ！）だけはちゃんと聞こえた  
でも氣のいいおっちゃんは「氣いつ  
けてな！」と言い残し、軽トラでさ  
つそうと走り去つていった。

「南三陸金華山国定公園女川湾」なんてところで一人で、いいなあ、いいなあ、とかいつつ写真を撮りしていたものの、そろそろ腹が減った。今日は民宿でハチ……じゃなくて朝食をちゃんと食べたのだが、まだまだ先は長い。なんかうまいものでも食いたいものだな。

おあつらえむきに、ツーリングマップで「おじか食堂」が紹介されていた。ではここに行くしかない。

そうに飛び去つていつた。どうでもいいけどかなりしょっぱいよ、それ。塩分取りすぎには注意するんだよ。

牡鹿半島手前で昼飯  
ウニ丼のうまさに脱帽

つー待つてろよ、うに丼！  
牡鹿半島に至る前の漁港にそれは  
あつた。ちょっと迷つてしまつたが、

とまあ、そんなこんなで今日も元気に出発。今日はあまり天気がよくなさそうだ。が、予報によれば南下すれば降雨もなさそう。幸いこれからは行程は、南下オンリー。では出発しましよう。8時45分出発！

かえるさんは国道4号＆東北自動車道でお帰りと相成った。私は342号でみちのくひとり旅♪の続行と相成った。旅、継続ナリ！  
国道342号は、一関から石巻方面まで延びている国道である。今

道から一本外れた場所にその店を発見。さすがに平日の昼だけあってあまり多くのお客さんはおらず、テレビ席につくことができた。

そしてメニューを見ると、なんとリーズナブルな「かさね井」の文字

牡鹿半島手前で昼ご飯  
ウニ丼のうまさに脱帽

が目に飛び込む。ううむ、2つの時  
間を食することができて、この達  
段！ 敵もさるもの、こちらの貧弱  
性を鋭くついてくる価格設定だ。  
なかなか悩む設定である。が、一  
こはまずウニは外せないだろう。後  
は……安いほうでいいや。「重ね井  
うにとにかく、三口シク！」。180  
円ナリ。

がある。そこには「コバルトライン」というオイシげな道もあるようだ  
では、そっちにゴー!

牡鹿半島は意外にでかい  
予想どおり(?)の展開に

力二はそこそこだったが、ウニがおいしかった。いや、美味！ 余満足である。さて、腹も一杯にな

り、クルマは少なくかなりいい感じのワインディングが続く。景色もかなりよろしい！

（参考）東京トキメキアーネル（本部）



の時間を要してしまった。まだ先は大した大きさの半島ではないと、ナメてかかっていたのが失敗。かなり長そう。先を急ごう。次は松島だ！……というわけで一挙に到着。ああ、松島や……。バイクを止めてトイレに行こうとしたら、チャリダーのおっさんに捕まってしまった。

なにやら、バイク乗りでもあるこの人、結構旅好きでいろいろとまわっているらしい。バイクの話やら、行き先の話などしていたら、時間を食つてしまつた。うううトレイ行きだかつたんだ！ アーンド、夕暮れで松島の景色がちゃんと見れなかつたよう。



●おじか食堂の「かさね丼」。ウニが美味！

——で仙台のホテルに電話。特にあてはなかったので、以前仕事で使ったホテルの番号が携帯電話に入つており、そこを予約した。

途中の酒屋で焼酎ボトルを買い込み、そしてさらに西へ。ちょっと迷ったものの、無事ホテルに到着。ちよっち休んで、仙台出身の後輩にうまいもの処を確認し、さつそく繰り出す。

目的地は歩いて3分の駅地下だ。仙台駅ビル内「すし哲」。ちょっとこじられたお店。幸い月曜日の夜ということもあり、特に待たずにカウンターに座れた。

しかし、所持金もだいぶ少なくなってきたので、一番安い握りを注文。明日の予定を決めるためツーリングマップを見ていたら、すし屋のに一ちゃんに「どつからですか?」なんて聞かれて、いろいろ話し込む。

この店はもともと石巻市に本店があるらしい。すしネタは小ぶりであったが、おいしかった。個人的には、汚え店の大ネタのほうが好みではあるが……。追加で旬のサンマも握つてもらい、こちらもおいしくいただいた。

そういう、本日は海鮮もんばかり食つてるな。まあ、これまで宿メシが主体だったので、こんなブチグルメもよかろうて。適當などいふでし、ホテルに戻る。例によつて、結局明日の予定は決めてないな……。

酒を飲みながら明日の予定を考える。やっぱり蔵王かなあ。よさげな道もあるしなあ、猪苗代湖も当然ターゲットだな。途中の湖も面白そうだ。よし、明日はこのルートで行こう!

会津若松の同じバイクに乗つていの友人（以下「ヨコチャーン」）に現

状を報告。速攻で、ヨコチャンから落ち合う約束をした。

今回の旅程については、あらかじめヨコチャンには伝えていたが、かなり流動的でどうなるか不明みたいな状況だった。が、急に具体的な段取りがついてうれしいかぎりだ。明日、蔵王方面＆南下していく分には天気もよさそうである。期待できるかな？

というわけで、今日は酒を飲みながら、まつりゆったり、そしていつしか寝てしまった。

本日の走行……343 km

藏王・猪苗代湖制圧シ  
現地同志一合流セヨ

7時起床。相変わらず仕事以外ではライダーの朝は早い。  
昨今のビジネスホテルは、無料で朝食がついていたりする。といつても、おにぎり十枚増汁十程度のものであるが、それでもありがたい。朝食を、もさもさバクバク食べて、手取り早く身支度。8時5分仙台

昨今のビジネスホテルは、無料で朝食がついていたりする。といつても、おにぎり十味噌汁十程度のものであるが、それでもありがたい。朝食を、もさもさバクバク食べて、手っ取り早く身支度。8時5分仙台出発！……つてか、雨降ってるんですけど!? ま、いいか……。

地を抜けるのに若干時間を食つてしまふ。ま、いいか……。

地を抜けるのに若干時間を食つてしまつたが、それ以降は順調に進み、  
蔵王に抜ける国道286号に進む。

さらに、蔵王エコーラインへ向かう  
国道457号に入つたら、突然雨が  
強くなつてきた。うむむ。

強くなってきた。うむむ。

汚れてんなあ。まあ、まだこの先の



●太平洋の海の幸を味わえる「おじか食堂」

状を報告。速攻で、ヨコチャンから電話が。明日は蔵王から猪苗代方面に行くことを伝え、猪苗代湖近辺で落ち合う約束をした。

路面はウエットだし、しゃーねーな  
とりあえず、メットにはつ水剤を  
塗つたりしていたら、だいぶ雨もを  
がつた。では、先に進みましょか?

もよくなりだした。路面がウエットなのは気に入らないが、快調にこの道を飛ばしていく。ウェット路面は怖かつたが、かなり曲がりくねつた



●海を見下ろす休憩ポイント、牡鹿半島の御番所公園

た途端、霧が発生。進むにつれ完全に濃霧状態。情景とかいう以前に、視界は10mを切っている。うひょ、こんなのがありかよ？

まさに五里霧中状態。半べそ状態でダウンヒルを敢行。メットのシリードがくもるが、開けるわけにはいかず、指ワイパーでしのぎながら進んでいく。幸いほどんど対向車はなかったので、そのままの世送りになることはなかった。霧が晴れてきたのは、かなり下がってから。そこから先はまだウェットだったが、かなり慣れてきたので若干飛ばしつつ、ふもとまで下る。さっきの濃霧はなんだったの？ みたいな晴天の田園風景を抜け、次の目的地につながる国道13号へ入った。

そして、その米沢市街を抜けると、「ここから先は好天で、かつ暑いくらい。平日の地方主要国道といった風情で、そこそこのスピードで流れている。この先には米沢市がある。

## おそるべし山形の峠！ 霧また霧のワインディング

いやいや、ほんとうにきれいな景色だ。スキーシーズンの蔵王もよかつたが、これはまた最高な景色だな。これを見られただけで、本日の第一目標達成といって過言ではない！ もう一日中、「ここでの山を見ていたい衝動に駆られた。と感動したもの、先に進まさるを得ないのがライダーの宿命（？）。まずはこのツーリングマップ東北編の、29ページの全体を占めるエコーライ

ンを制覇しないと……。

この先は同様の景色が続き……と思つたのもつかの間、高度が下がる（つまり蔵王山の向こう側）に入つ

大自然だ!!!

「然の息吹」といった感じの情景が非常に印象的（大きさかもしれないけど）であった。そしてさらに進むと、路面はおおむねドライになり、蔵王山が見えてきた。

こんなにだだっ広い駐車場に俺だけだ！ 流れる雲、聞こえるのは風の音だけ。

いやいや、ほんとうにきれいな景色だ。スキーシーズンの蔵王もよかつたが、これはまた最高な景色だな。これを見られただけで、本日の第一目標達成といって過言ではない！ もう一日中、「ここでの山を見ていたい衝動に駆られた。と感動したもの、先に進まさるを得ないのがライダーの宿命（？）。まずはこのツーリングマップ東北編の、29ページの全体を占めるエコーライ

ンを制覇しないと……。

この先は同様の景色が続き……と思つたのもつかの間、高度が下がる（つまり蔵王山の向こう側）に入つ

大自然だ!!!

（※ちなみにこれらの標高は、後で調べたもの。当時はそんな情報は知

第二目標・猪苗代湖につながる県道2号である。これまたツーリングマップおすすめのロードであり、期待が高まる。

「米沢牛食わなくていいのか、ライダとしてそれでいいのか？」といつた葛藤があつたものの、ホテルの無料朝食のおかげでそれはやり過」すことができた。

ヨコチャンには現在位置を携帯メ

ールで報告した。いざ、猪苗代湖へ！

「ただではないが、平日の観光地界限の道は非常にすいている。この道も同様。ほとんど貸しきり状態で、気持ちのよい道路を気持ちいい速度でじんじん進んでいく。

ホンマ快適である。もちろん、ほ

どよい感じのワインディングである

ることは言つまでもない。ああ、快なことは言つまでもない。ああ、快な

じやんじやん進むとともに、勾配もコナーも険しくなってくる。ふんふん、いいんじゃない？ どんごいやあくってな感じで進んでいくものの、この勾配続きすぎじゃない？

なんだか雲も多くなり、道もウエ

ットっぽくなっている。大丈夫か

な？ で、気がつくと……。ここは

進むと、雨は降らないものの相変わらずあまりにも坂が続きすぎるな

あ、まあみ見晴らしもいからいいかな……なんて思つて走つて峠を越えた途端、再度五里霧中。ここは東

北山（標高1410m）。さらに

白布峠（標高1410m）。さらに

進むと、雨は降らないものの相変わらずあまりにも坂が続きすぎるな

あ、まあ

**モードサイクリスト**  
定価 420円  
www.yaesu-net.co.jp  
毎月 1日発売

# 定期購読

しませんか?

定期購読なら  
特別定価の時でも  
料金はそのままです!!

送料無料  
でお届け中!

6ヶ月なら 2,520円  
12ヶ月なら 5,040円

別冊 **MOTOR CYCLIST** 定価 700円  
毎月 15日発売  
6ヶ月なら 4,200円  
12ヶ月なら 8,400円

スクーターファン **Scooterfan** 定価 820円  
奇数月 26日発売  
12ヶ月(6回発行) 4,920円

まずはお問い合わせください。

**(株)八重洲出版**  
東京都中央区八丁堀4-5-9

**03-3552-8431**

受付時間・平日9:30~17:30

e-mail : store@yaesu-net.co.jp  
www.yaesu-net.co.jp



待ち合わせ時間には少し早いの  
で、南側にまわり国道49号・県道3  
76号沿いに走り、待ち合わせ場所



●濃霧で心細かった……。東鉢山 (標高1512m)

の野口英世記念館前でヨコチャンを待つ。

さて、ヨコチャンは、冒頭に記載した「XEOS」(X11オーナーズサイト)のメンバーである。サイトで知り合い、同世代であることや音楽的趣味も同じなこともあります。懇意にさせていただいている。ただ、これまでメーリのやりとりが主で、実際に会ったことはない。じつは会うのは今回が初めてである。よって初対面だし、小心者でシャイな私は正直動搖している。

「おつかねーオッサンだつたらどうしよう」、「エクストリーム乗りで火花散らしながら、最後はジャックナイフで来たらどうしよう」。有事の際には、即他人となつて発進できるよう身構えて(ウソ)、到着を待つ。しかし後、「ウォン!」とスペックA(ヤマモトレーシング製のマフラー)の音とともに、私と同じ黒いX11が駐車場に入ってきた。メットを脱いだヨコチャンは、きわめて普通の人だった。どうも初めまして!

こつちは何も用意してなかつたの  
に、お土産の色絵ろうそくなぞいた  
だいてしまい恐縮至極である。

子でバイク談義が始まると(これが同  
好の同志)バイク乗りのいいとこ  
ろ)。あーだこーだ、このまま放つと  
くと夜まで余話が続きそうな感じ。  
さすがにヨコチャンが気を遣つて  
くれて、今日はどうしようというこ  
とに。そういえばこの先のことはほ  
とんど考えてなかつた。でも、ヨコ  
チャンに遭遇したことで、今回の旅  
の目的はひととおり完結している。

一方、ヨコチャンのほうでは、宿泊先の候補などを考案していただき  
たようである。若干悩んだが、ヨコ  
チャンには申し訳ないのだが、本日  
はこのまま家に帰ることにした。  
といつても、このままここでサイ  
ナラつてのものなあ……と思つていた  
河方面に抜けいい道があるので走  
りましよう」とのこと。いいです  
ね! では参りましよう!

ここから東に猪苗代湖をまわる感  
じで、国道49号を進む。ボケーと走  
つていると、左手になにやらきれい  
なお山が見える。「あつ、あれが会  
津梯山?」。  
そういう、途中は雨で見えず、先  
ほどの駐車場にいたときはそんなこ  
とはすっかり忘れていた。うーむ、  
止まつて写真を撮りたいものだが:  
と思つたが、ヨコチャンとツルん  
で走つてゐる最中だつたし、それは  
かなはず。残念!  
国道49号から分岐し、さらに猪苗  
代湖をまわつていくのが県道9号。  
湖の眺めが非常によろしい。昼過ぎ  
く夕暮れ前の、絶妙な太陽光の下で  
のこの風景は、とてもきれいなもの  
であった。

そしていつたん県道6号を経て、  
国道294号へ。この先も非常に走  
りやすい高速コーナーが続き、爽快  
な空気のなか、2台のX11がさつそ  
うと走り抜けていく。  
で、途中で燃料残量警告などが点

機の真後ろだつたらしく、いきなりク  
ルマがバックで迫つてくる。体が凍り  
つく。んがー! 止まれ止まれ止まれ  
止まつて写真を撮りたいものだが:  
と思つたが、ヨコチャンとツルん  
で走つてゐる最中だつたし、それは  
かなはず。残念!  
国道49号から分岐し、さらに猪苗  
代湖をまわつていくのが県道9号。  
湖の眺めが非常によろしい。昼過ぎ  
く夕暮れ前の、絶妙な太陽光の下で  
のこの風景は、とてもきれいなもの  
であった。

ここにバイクを移し、しばし休憩。こ  
こでもまた「眠気覚ましに」とブラ  
ックラックガムをいただいてしま  
つた。ほんとうに恐縮です。  
ここから東北自動車道須賀川まで  
は、もう少しの距離だ。今日はあま  
り多くの時間を過ごせなかつたけ  
ど、また必ず来ますと約束し、最後  
の走行に入る。そして須賀川ICの  
入り口で最後のごあいさつ。

ほんとうにお世話をになりました。  
また会いましょう！ 今日行けなか  
つた温泉に行きましょう。都合がつ  
けば、関東にもいらしてください！

## ついに最後の戦い 「雨、走行注意」の意味

ヨコチャンを見送り、私も須賀川  
ICから東北道に入った。楽しい旅  
の終わりである。あとは安全運転で  
帰るだけだ。ミッション完了！ コ  
レヨリ帰投スル！

帰り道こそ慎重に。明日も休みだ  
し急ぐことはない。日は暮れ始めて  
いるが、ゆっくり走つていけばいい  
だろう。家までだいたい260kmの  
道のりだ。

天気も……。あれ、なんかこの  
先「雨走行注意」って出てるぞ？  
まあ大したことはないだろう。若干  
パラパラ雨に降られたものの、無事  
那須高原SAに到着。なんだ大した  
雨じゃないじゃん。

若干休憩し、先に進む。走り出し  
てすぐ、再度「雨走行注意」の警告  
が出ている。また、どうせ大したこ  
とないだろうとタカをくくつてい  
た。事実そのすぐ先で、再度パラ雨  
に見舞われた程度である。よって鼻  
歌交じりに順調に走行していく。  
日はとつぶり暮れてきたが、特に  
問題はない。「フフン、楽勝だぜ」と  
思ったそのとき……「カン！」  
……え？ 何かがメットのシール  
ドに当たる。ん？ 虫？ と思う間も  
なく、次の瞬間、全身に打ちつける  
ような、恐ろしい豪雨が始まつた。  
雨が痛い。

視界はほとんどなく、前走車のテ  
ールランプがかるうじて見える程度。  
さすがに80km/hに落としたがあま

り変わらない。それ以下の速度にし  
ても、雨はさらに強くなるばかり。

上半身は防水のジャケットだから  
いいが、下半身はジーンズのまま、  
速攻で水浸し。パンツからケツの穴  
付近まで水浸しである。カッパに換  
装したくても場所がないし、すでに

速攻で水浸しである。カッパに換  
装したくても場所がないし、すでに  
付近まで水浸しである。カッパに換  
装したくても場所がないし、すでに  
無意味な状態。

なんだかもう、あははは、な感じ。  
ヤケクソ気味に走り続けるしかな  
い。いやあ、旅は楽しいわ。

永劫と続くかと思えた豪雨も20分  
ほどで小降りになり、上空にはうつ  
すらと月さえ見えてきた。ホッとひ  
と息である。参つた、参つた。

まあ、このまま走れば服も乾くか  
もなくと思っていたら、再々度、さ

「雨走行注意」。まあ冗談でしょ、さ  
っきの雨のことと/or、「カン！」  
(以降省略)20分前に戻る。ちなみに  
に先ほどの2倍程度の豪雨・時間)。

お天道様、私は十分参りました。  
グウの音も出ません。ほんとうにあ  
りがとうございました。

というわけで、へろへろで次の佐  
野SAに寄港。下半身はパンツまで  
びっちょり。その後の走行で若干、  
ジャケットは乾き始めたものの、布  
のジーンズ下半身はいまだお漏らし  
状態。

かなりムカついたものの、誰に怒  
つていいのかわからず、その場では  
処置できずに放置したままだった。

また通例どおり、タンク・リヤカウ  
ルには荷物とのかずれによる、小さ  
いのがかなり目立つ傷が散見される。

これまでの補修が必要。そして全体的に  
ドロドロなバイクの洗浄は必須であ  
る。5時間かけてピカピカにした。

バイク置き場にいたCB1300  
SFのお兄さんと、ひでえ雨だった  
つすねえ……なんて傷をなめあつた  
りなんかする。

しかし若干腹が減つたな。でも服  
が濡れてるなあ。もう知らねいやい、  
とばかりにレストランでメシを食う  
ことにした。「お客様、当店ではお  
漏らしの方はご遠慮いただいており  
ます」というおどがめもなく、予定

もなにもあったもんじやない、旅に

にありつくことができた。

ちなみにその先ではもう、雨にた  
たられることはなかった。順調に川  
口に出て、首都高速道路に入り、2

回の工事渋滞に阻まれたものの、特  
に問題なく羽田出口に到着。そして、  
22時13分無事自宅到着。

本日の走行……484km

## 仕上げは洗車で締め！

最後は若干(?)雨にたたられた  
がそれもまた一興。楽しい旅であつ  
た。5日目は、夏休みの最終日。す  
でに4日間で5日分は楽しんだよな  
あ。というわけでじっくり腰を据え  
てバイク掃除だ。

前述しなかつたが、実は岩木山周  
辺の道路で、路上にバラまかれた青  
いペンキを踏んでしまったようで、  
車体のいたるところに青ペニキが散  
乱付着している。

かなりムカついたものの、誰に怒  
つていいのかわからず、その場では  
処置できずに放置したままだった。

また通例どおり、タンク・リヤカウ  
ルには荷物とのかずれによる、小さ  
いのがかなり目立つ傷が散見される。

これまでの補修が必要。そして全体的に  
ドロドロなバイクの洗浄は必須であ  
る。5時間かけてピカピカにした。

これにて完全終了！

最後に。

久々のロングで楽しい旅だった。  
つて書いてやうとこの一言で終わ  
っちゃうんだが、走つても止まつて  
ことになった。「お客様、当店ではお  
漏らしの方はご遠慮いただいており  
ます」というおどがめもなく、予定

おつき合いいただいた、かえるさん  
とヨコチャンには感謝感謝です。  
このよだな時間があつてこそ、ま  
たバイクに乗るために働くのもま  
いいかなと思えるってなもんです。

おつき合いいただいた、道中掲  
示板やメールではげましていただい  
た方、職場の皆さま、そして自宅に  
残してきた奥様、ありがとうございました。  
おつき合いいただいた方、道中掲  
示板やメールではげましていただい  
た方、職場の皆さま、そして自宅に  
残してきた奥様、ありがとうございました。

編集部より

東北・湖めぐりは面白いプランで

すね。山深いエリアだからこそ、湖  
も多種多様。観光地から秘境まで、  
つなげて走るツーリングを楽しむこ  
とができると思います。それゆえ山  
を下れば、海の幸も味わえますし  
ね！

事前に計画を練るのが楽しい、と  
いう人もいれば、「とりあえず行つ  
てから決定！」という人もいる。ツ  
ーリングの楽しみは人それぞれです  
が、相棒がいてすら、とことん現地  
決定のおおらかさはスゴイです。ア  
クシデントも楽しむこの姿勢、今後  
もどうぞ貫いてください。

## 応募の決まり



- 400字詰め原稿用紙5~10枚程度にレポートをまとめてください
- 住所、氏名、年齢、職業、電話番号、車種(正式名称&年式)を明記
- レポートに関する写真を5~6枚程度とその説明(景色ならその地名、印象など)。写真はできるだけ本人が写っているものを
- 走ったルートの略図(国道番号や地名は正確に。難しい読み方にはカナをふる)を付けてください
- 全日程/走行距離/総費用(わかる範囲で内訳も)／平均燃費(だいたいでオーネー)を書いてください
- 以上を封書で先まで送つてください(メールも可。mc@yaesu-net.co.jp)。なお、原稿と写真は、採用、不採用にかかわらず返却いたしません
- 採用原稿や写真は、小社のホームページ(<http://www.yaesu-net.co.jp>)に転用することもあります

採用者には  
原稿料5000円を  
進呈します

あて先 〒104-8488 (株)八重洲出版  
モーターサイクリスト編集部「たびろく」係



個人情報の取り扱いについて●このコーナーあての投稿で編集部が得た読者の皆様の個人情報は、投稿謝礼の発送のほか、本誌企画にご協力いただく際の連絡にも利用することができます。ご本人の許可なくそれ以外の目的には利用しません。また、ご投稿いただいたEメール、写真や原稿類は編集部で厳重に管理し、使用後は破棄します。